



金沢市議会議員

田中美絵子

2021

新年あけましておめでとうございます。旧年中は大変お世話になりまして本当にありがとうございました。とりわけ昨年は新型コロナウイルス感染症の影響で大変な状況下で、収集事業に取り組まれた組合員の皆様には改めて感謝と敬意を申し上げます。現在もお新型コロナウイルスは世界的に猛威を振るっています。私も市政から出来る限りの対策に取り組んでまいり決意です。

さて、昨年は定例月議会において清掃行政に関する一般質問をさせて頂きました。質問作成にあたり、現場の課題と現状についてご指導くださいました執行部はじめ組合員の皆様に厚く御礼申し上げます。質問でも市に訴えましたが、やはり不測の事態に備えて、2ヶ所の直営収集事業所体制と収集職員の配置体制はしっかりと維持していくことが重要です。今後も引き続き現場のご意見を議会や委員会等を通じてお届けしてまいりたいと思います。

一方で残念ながらごみ出しサポート事業の要件緩和はまだ実現にいたっておりません。他都市の自治体では柔軟な対応を取っているところが複数存在しています。本市でも利便性の向上を目指して要件緩和が実現するよう取り組んでいかなければならないと考えています。これから先、高齢化社会が進むにつれ、市の様々な制度を見直していく必要があると思っています。また地域や職場で気になる点がありましたらぜひ教えて頂けたら幸いです。

今年は市議会議員に初当選させて頂いてから折り返しの年となります。あっという間の2年間であったと思います。毎回議会質問をさせて頂けるのも、多くの方からご要望やご意見を頂く機会があったからこそです。市議会の一般質問は、自分で一から課題を見つけ出し、調査とヒアリング、下調べを行ってようやく質問原稿が出来上がります。自分一人の力で出来るものではないと実感をしています。皆さんとの共同作業が住みやすい街づくりにつながっていくと思っています。これからも多くの方からご相談やご意見を頂けやすい雰囲気や環境づくりを作っていかなければならないと言いつつも聞かせています。

市従労の皆さんとは、組合で接する機会を多く与えて頂いて本当に感謝をしています。その一つ一つのご恩に感謝し、今年一年もがんばってまいります。今年もどうかご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

2021



北陸労働金庫 金沢南支店 支店長



清水 亜妃恵



謹んで新春のお祝いを申し上げます。
昨年は、当庫の各県毎に開催しました「常任推進委員 全体会議」において、石川県地区会員代表として『金沢市従業員労働組合における自主福祉運動の取り組みについて』と題し、組合員の方の目線に寄り添った「機関紙の発行」および組合員の方全員を対象とした『個人面談』をはじめ、これまで行ってきた数々の金沢市従業員労働組合様での取り組みを発表していただきました。

このことは、当支店にとりましても、また当庫にとりましても、改めて金融機関として「何を」提供していくのかと、私自身も考える良い機会になりました。

コロナ禍と言われる厳しい世情の中で、金沢市従業員労働組合様が発信された『組合役員が辛い顔をしていては組合運動は活性化しません！笑顔になることから始めましょう！皆さんとともにがんばりましょう!!～金沢市従業員労働組合における自主福祉運動の取り組みについて～発表資料抜粋』メッセージは現在、当支店の職員も「私たちが辛い顔をしていては労金運動は活性化しない！組合員の方々のためにも笑顔で頑張りましょう!!」と労働金庫バージョンに変え、当支店内でも使わせていただいております。

金沢地区として、営業体制を見直しさせていただき、初めて新しい年を迎えました。金沢地区店舗として本店・石川県庁出張所と一丸となり、さらに皆様のご要望にお応えできますよう、サービス向上に向け気持ち新たに、職員一同取り組んでまいりますので、お気づきの点がございましたら、何なりとご指導いただければ幸いです。

本年も労働金庫運動にご協力をお願いし、変わらぬご愛顧のほど心よりお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

自治労

N市従労 NEWS

第151号
発行2021年1月3日
金沢市従労組 情報宣伝部